

## 分野 1 学校教育

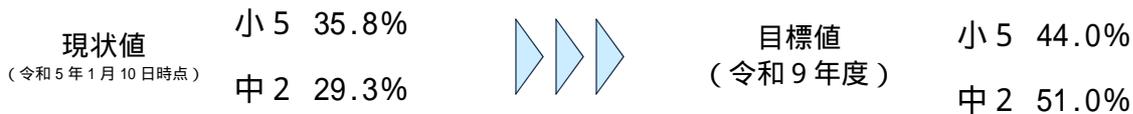


### 施策 1 豊かな心と体の育成

#### KPI (重要業績評価指標)

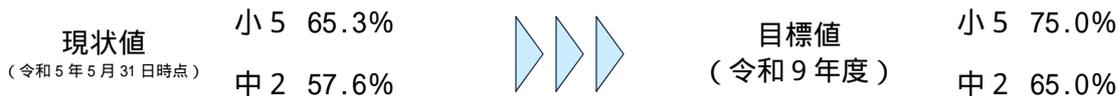
##### 指標名

新体力テスト(小5、中2)の結果について、5段階評定(A~E)のうち、上位2段階(A、B)の児童生徒の割合



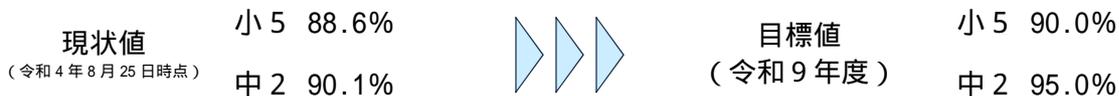
##### 指標名

「南相馬市の自慢できるところ」や「好きなところ」について「ある」「少しある」と回答する児童生徒の割合(小5、中2)



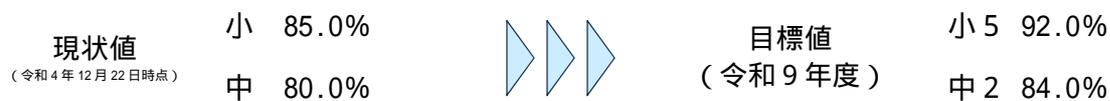
##### 指標名

相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができている児童生徒の割合(小5、中2)



##### 指標名

朝食を食べる児童生徒の割合



目標値(令和9年度)は本市の現状を踏まえ設定。(以降のページに記載された目標値も同様)  
目標値設定の考え方など詳細はP63以降に記載。

## 取組方針

### 1 - 1 郷土を愛し豊かな心を育む教育「至誠（まごころ）学」を推進します。

---

道徳や総合的な学習の時間を中心に学校教育全体を通して、命を大切にする心、他人を思いやる豊かな心、郷土を愛する心を育みます。先人が大きな危機を乗り越えた「報徳仕法」を学び、ふるさとの将来を担うこどもたちが、ふるさと南相馬に対する誇りや愛情を持って、自分の生き方について考え、成長できるようにします。

### 1 - 2 様々な側面から生命の尊さについての考えを深め道徳教育を推進します。

---

自他の生命の尊重、他者への思いやり、自己肯定感、人間関係を築く力（コミュニケーション力）社会性などに加え、人種、性別、文化、国籍、宗教などの違いを受け入れ、お互いに認め合うなど多様性を尊重する力を育み、いじめや自殺対策にもつながるよう、道徳教育の充実に取り組みます。また、悩みや不安のある児童生徒に対する支援体制を強化します。安全・安心で充実した学校生活を通して、健やかに成長できるよう環境整備に取り組みます。

### 1 - 3 運動の習慣化や正しい食生活を身に付け、健康な体を育む教育の推進を図ります。

---

児童生徒が運動の楽しさや喜びを感じ、運動の習慣化、日常化に繋がられるような授業を推進し、健康・体力の向上を図ります。

また、成長段階に応じた保健指導や食育活動等を通じ、望ましい生活習慣や食生活を身に付け、健やかな体を育む教育を推進します。

## 主な取組

### 計画的・発展的な道德教育の充実

(学校教育課)

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養うため、道德の授業の指導方法や評価のあり方、教材の効果的な活用等について研究を継続し、社会の状況を踏まえた充実した道德教育を推進します。

#### 具体的な 取組例

- ・互いに思いやり、まごころで接することの大切さについて考えさせるために「親切・思いやり」を重点項目として設定
- ・答えが一つではない道德的な課題を自分事として捉え、向き合わせるために「考え、議論する道德」の授業づくりの推進
- ・多様性を尊重する力を育む視点を踏まえた人権教育の推進

### 報徳仕法等の郷土学習の実施

(学校教育課、生涯学習課)

道德を中心に学校教育活動の全体を通して、「郷土愛」の指導に重点をおいた教育や「至誠(まごころ)学」の充実を図ります。

また、総合的な学習の時間においては、地域の自然、歴史、文化などの特性や課題を意識した探究的・体験的な学習を推進し、深い学びの充実を図ります。

#### 具体的な 取組例

- ・総合的な学習の時間において郷土についての探究的な学習の実施
- ・「報徳仕法」を学ぶため、「二宮金次郎・富田高慶からの贈りもの」(市発行)等の資料を活用した学習の実施

### 情報モラル教育の充実

(学校教育課)

スマートフォンやタブレットの普及、人工知能(AI)の進化など、今やデジタル技術は日常生活の中で欠かせないものになっています。この情報社会を暮らしていく力を養うため、発達段階に応じた情報モラルを含む情報活用能力(児童生徒が情報手段を適切に活用できる力や、自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任を持ち、危機を回避する等情報を正しく安全に利用するための情報モラル等)を育成します。

#### 具体的な 取組例

- ・デジタル教材などを活用した発達段階に応じた情報モラル教育の充実
- ・デジタル教材を日常的・効果的に活用するための指導者のスキルアップの促進
- ・保護者との共通理解を図り、学校・家庭の両面からの情報モラルに関する指導の充実
- ・児童生徒や保護者の情報モラル診断の定期的な実施

主な取組の冒頭の説明部分のみではイメージしづらい取組については、今後取り組む内容の一部を「具体的な取組例」として掲載しています。

運動が苦手、嫌いな児童生徒も運動する楽しさを見だし、さらに夢中になって取り組もうとする授業づくりを推進し、体育の授業を業間や放課後、学校行事や休日の運動活動等に繋げながら運動の日常化を図ります。

また、動きづくりや技能の習得などの個人差に対応しながら、体の動かし方や上手くなるためのコツがわかる授業を展開します。

具体的な  
取組例

- ・授業の質向上のため、地域のスポーツ指導者の活用やチーム・ティーチングによる授業の実施
- ・児童生徒や保護者に対し、食育も含めた健康な体作りの啓発活動の実施
- ・健康診断の結果を基に、養護教諭による生活習慣や食習慣に関する指導・助言を行うなど、発達段階に応じた継続的な支援の充実

こどもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校・家庭・地域の連携による食育の充実を図ります。

また、学校給食における地元産食材を活用する取組、食に関する健康課題のある児童生徒等への個別的な相談・指導の充実を図ります。

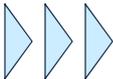
具体的な  
取組例

- ・栄養教諭、栄養士による児童生徒への栄養指導や希望する保護者との個別相談の実施
- ・食育の重要性を児童生徒や保護者に伝えるため、「食育広報」の発行などの啓発活動の実施
- ・学校給食を通じた献立の工夫、感謝の心、食事のマナーの指導

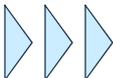
## 施策 2 教育水準の向上

### KPI（重要業績評価指標）

#### 指標名 学習の意欲が高い児童生徒の割合（小5、中2）

現状値 <small>（令和5年6月7日時点）</small>	小5 41.0%		目標値 <small>（令和9年度）</small>	小5 60.0%
	中2 53.0%			中2 60.0%

#### 指標名 標準学力調査（小5、中2）における平均正答率

現状値 <small>（令和5年3月時点）</small>	小5 68.0%		目標値 <small>（令和9年度）</small>	小5 72.0%
	中2 58.0%			中2 64.0%

### 2 - 1 基礎学力の定着と活用力の向上を推進します。 (学校教育課)

---

基礎的な学力は、こどもたちが自立し、変化の激しい社会の中で主体的に課題を解決していくための源泉となるため、全国学力・学習状況調査などの各種調査結果を踏まえ、教員の指導力向上対策、幼児教育から高等教育機関まで切れ目のない教育活動の取組、家庭等での学習の充実など、より効果が期待できる取組を進めます。

また、児童生徒一人ひとりの資質・能力を伸ばすため、DXの推進による個別最適化された学びの充実を図るとともに、きめ細かな指導体制を充実させるため、学校司書や学力向上教員、外国語指導助手の配置拡充に取り組みます。

併せて、教員の授業研究時間の確保を図るため、働き方改革に取り組みます。

### 2 - 2 学習意欲を高める魅力ある教育環境づくりに取り組みます。 (学校教育課)

---

グローバル化の進展に対応した外国語教育や国際理解教育、技術革新に対応したプログラミング教育の充実・強化を図るとともに、キャリア形成に資する多様な体験プログラムを提供・実施するなど、学習意欲を高める魅力ある教育環境づくりに取り組みます。

また、東日本大震災や原子力災害、少子化の影響により児童生徒数が減少していることから、地域との合意形成を図りながら、地域の状況に応じた市内小中学校の適正化を推進します。

### 2 - 3 こどもの読書活動と調べ学習を推進します。 (学校教育課)

---

児童生徒が主体性を持って読書や調べ学習の楽しさを実感できるよう魅力ある図書館資料を整備し、学校図書館の質を高め、学校教育活動全般における学校図書館の積極的な活用を推進します。また、学校司書を増員し、小中学校全校専任を目指します。

### 2 - 4 進学を推進するための支援に取り組みます。 (教育総務課)

---

学ぶ意欲のある学生が、希望する進路を諦めることなく安心して修学できるよう、修学資金の貸付・給付を行うとともに、国において検討されている給付型奨学金の対象拡大など、社会情勢にあわせた修学支援のあり方について注視しながら支援していきます。

## 主な取組

### 学力の実態把握や授業の改善

(学校教育課)

全国学力・学習状況調査などの各種調査結果を踏まえ、「南相馬市授業改善プラン」に基づき、市内全ての小中学校において「南相馬の授業スタイル」の共通理解を図るとともに、教員研修を充実、PBL (Project Based Learning (問題解決型学習))<sup>8</sup>の積極的な推進に取り組みます。

具体的な  
取組例

- ・教育先進地での教員研修の充実
- ・南相馬の授業スタイルやPBLの定着化に向けた教員への指導體制の充実

### 市独自教員の採用

(学校教育課)

指導環境の充実化や児童生徒の学習意欲と学力の向上を図るため、学力向上教員として市独自に採用する教員の配置拡充を図ります。

### 教員の働き方改革の推進

(学校教育課)

教材研究の時間や児童生徒との関わりを深める時間を確保し、効果的な教育活動を行うことができる体制を構築するため、DX 推進による校務負担の軽減、部活動に対する支援など、教員の働き方改革を推進します。

具体的な  
取組例

- ・校務支援システムやアプリケーションなどを活用した校務の効率化、ペーパーレス化の推進
- ・2学期制の導入による行事の効率化や通知表作成の負担軽減などから期待される教職員の積極的な自己研鑽の時間の確保及びゆとりある教育活動の推進
- ・部活動指導員の配置拡充や部活動の地域移行に向けた取組の実施

### 一人一台のタブレット等を活用したデジタル学習の推進

(学校教育課)

児童生徒の発達に応じた、情報モラルを含む情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成するため、タブレットを効果的に活用したデジタル学習に取り組みます。

また、タブレットは文房具の一つとしての意識の下、学校教育活動全般における活用により、個々の特性に応じた個別最適化された学びの充実を図りながら、学校で学びたくても学べない児童生徒への遠隔・オンライン教育や、発達障がいなどにより学習に困難を抱える児童生徒や外国人児童生徒等への支援において ICT を活用するなど、学習活動が円滑に進むよう取り組みます。

具体的な  
取組例

- ・授業での協働的な学習や習熟度別学習、学習ドリルアプリを活用した持ち帰りによる家庭学習の推進
- ・デジタル学習支援のため、学校への ICT 支援員の派遣の継続
- ・効果的な学習支援アプリ等の研究・導入・活用

#### 8 PBL (Project Based Learning (問題解決型学習))

知識の暗記などのような生徒が受動的な学習ではなく、自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした学習法のこと。

学校における教育活動の取組を補完し、基礎学力や活用力の更なる向上を図るため、家庭学習の質・量の充実を図ります。

また、受験等を意識した実践的な学習により学習効果を更に高めるため、学習塾と連携するなど、学校や家庭以外での学習機会の拡充を図ります。

具体的な  
取組例

- ・家庭学習の指針の策定、実施
- ・学習ドリルアプリを活用した持ち帰りによる家庭学習の実施
- ・学習塾等と連携した取組の研究、実施

### 幼児教育から高等教育機関まで切れ目のない教育活動の推進

(学校教育課)

こどもたちが安心して学校生活に適応し、かつ将来就きたい職業への意欲を持って学校生活を送ることができるよう、入学・進学に伴う児童生徒の戸惑いや影響の軽減、大学等高等教育機関までの進学も見据えた各学校段階に応じた教育活動の展開、将来を見据えたキャリア形成等、切れ目のない教育活動に取り組みます。

具体的な  
取組例

- ・幼保・小連携によるスタートカリキュラムの実施
- ・義務教育9年間を見据えた教育活動、小中学校教員相互による乗入れ授業等の実施
- ・高校と連携した教育活動、高等教育機関等による特別講義の実施

### 外国語教育、プログラミング教育の推進

(学校教育課)

グローバル化や技術革新が進む社会に対応するため、幼保・小・中一貫した切れ目のない外国語教育及びプログラミング教育を推進します。

具体的な  
取組例

- ・幼稚園・保育園における、あそびを通じた英語発音学習や小学校でのフォニックス学習の実施
- ・英語を使う機会を拡充するため、外国語指導助手(ALT)の全小中学校専任化の推進
- ・全中学生に対して実用英語技能検定の受験料支援の継続実施
- ・プログラミングロボットの活用や高等教育機関、企業等と連携したプログラミング教育の実施

## 中学生の海外研修の継続と、多様な文化や価値観への理解を醸成する体験プログラムの提供 (学校教育課)

国際理解教育を推進し、広い視野を持った児童生徒の育成を図るため、中学生海外研修事業を継続して実施します。

また、児童生徒の多様な文化や価値観への理解醸成を図り、キャリア形成に資するため、各種体験プログラムを提供・実施します。

### 具体的な 取組例

- ・中学生海外研修事業の継続実施
- ・異文化体験、職業体験、企業見学など多様な体験プログラムの提供・実施
- ・体験学習に必要なバス代等の経費に対する助成の継続

## 公立学校適正化計画の推進 (学校教育課)

子どもたちが集団の中で、多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けることができるよう、子どもたちにとって望ましい教育環境を実現するため、地域との合意形成を図りながら、地域の状況に応じた市内小中学校の適正化を推進します。また、学校適正化にあたっては、地域の伝統を受け継ぎ、その地域の特性を活かした特色と魅力ある教育環境づくりに取り組みます。

### 具体的な 取組例

- ・公立学校適正化計画に基づき、保護者や地域の方と協議を行い、適正化に向けた合意形成を推進

## 福島国際研究教育機構 (F-REI) 等との連携による次世代人材の育成 (学校教育課)

福島国際研究教育機構 (F-REI) や福島ロボットテストフィールドとの連携により、グローバル化や技術革新が進む社会に対応しうる次世代人材の育成に取り組みます。

### 具体的な 取組例

- ・福島国際研究教育機構 (F-REI) や福島ロボットテストフィールドで取り組む最新技術や研究に触れる機会の創出による児童生徒のキャリア形成、創造的思考力の育成

## 小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境の整備 (学校教育課)

教育施設が集中する地域特性を生かし、幼保・小・中・高連携による切れ目のない接続的な小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境を整備します。

### 具体的な 取組例

- ・幼保・小・中一貫した外国語教育の取組の推進
- ・小高区の地域人材を生かした魅力ある体験活動の実施
- ・小高区の将来の姿を見据えた施設一体型の小中一貫校等の設置検討

学校図書館を活用した児童生徒の読書活動や調べ学習の推進により、学習内容を深め、表現力や想像力を高めるため、学校司書の配置拡充及び学校図書の整備充実に取り組みます。

また、効果的な外国語教育に資するため、外国語図書の整備・充実を図ります。

具体的な 取組例		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書の全小中学校専任化の推進</li> <li>・中央図書館と連携した学校図書館図書の整備・充実</li> </ul>
-------------	--	---

教育水準の向上にかかる先進的・効果的な取組の調査研究

(教育総務課・学校教育課)

複雑化・多様化・グローバル化などの時代に求められる主体性、コミュニケーション能力、探求力、思考力・判断力・表現力などを備えた人材育成のため、新たな視点を持って他自治体等における先進的・効果的な教育システムやプログラム等の導入・実施事例の調査研究を行います。

情報技術を生かした修学資金貸付・給付申請手続きにおける利便性向上

(教育総務課)

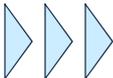
育英資金貸付ほか、市が行う修学資金貸付・給付申込にあたり必要な書類提出等を含む手続について、申込者の利便性向上や業務効率化のため、見直しを図ります。

具体的な 取組例		<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学資金貸付・給付申込にかかるオンライン申請の導入</li> </ul>
-------------	--	--

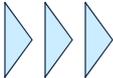
## 施策3 教育環境の整備

### KPI（重要業績評価指標）

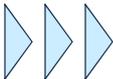
**指標名** 学校に行くのが楽しいと回答する児童生徒の割合（小5、中2）

現状値 <small>（令和5年6月7日時点）</small>	小5 95.0%		目標値 <small>（令和9年度）</small>	小5 96.0%
	中2 79.0%			中2 85.0%

**指標名** 小中学校の施設・設備の整備について「満足」「やや満足」と回答する保護者の割合

現状値 <small>（令和5年5月31日時点）</small>	59.0%		目標値 <small>（令和9年度）</small>	63.0%
-------------------------------------	-------	---	-------------------------------	-------

**指標名** 学校給食における市産品の使用率

現状値 <small>（令和5年6月16日時点）</small>	40.7%		目標値 <small>（令和9年度）</small>	50.0%
-------------------------------------	-------	---	-------------------------------	-------

### 3 - 1 地域と連携した登下校時の安全確保や安全な通学手段の確保と、安全教育を推進します。

---

こどもたちが安全で安心して生活できるよう、学校安全ボランティア等、地域と一体となった安全・安心の環境づくりを推進します。また、防災教育や交通安全教室を通して、日常の学校生活等で安全に関する指導を行います。

### 3 - 2 学校施設の安全で快適な環境整備・改善に取り組みます。

---

児童生徒に安全・安心な教育環境を提供するため、学校施設の適切な保全管理を行います。また老朽化施設の長寿命化を図るため、計画的な改修・修繕を行います。

### 3 - 3 学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進します。

---

保護者や地域住民に説明責任を果たすとともに、地域住民の力を学校運営に効果的に反映できるように地域とともにある学校づくりを推進します。

### 3 - 4 安全・安心な学校給食の安定的な提供体制を整備します。

---

学校給食の充実を通して、成長期であるこどもたちが心身ともに健康でいられるよう、安全・安心で、楽しみと栄養バランスのとれた学校給食を安定的に提供します。

## 主な取組

### 通学路等の安全点検の実施

(学校教育課)

学校と保護者や地域、関係機関が連携し、定期的に通学路点検を行うなど、児童生徒が事故や犯罪に巻き込まれないよう安全確保に努めます。

具体的な  
取組例

- ・学校・保護者等と連携した通学路安全点検の実施
- ・関係機関と連携した交通安全教室の実施
- ・保護者や地域の方と連携した見守り活動の推進

### 通学バスの運行等通学手段の確保

(学校教育課)

児童生徒が自ら通学できる体制を構築するため、遠距離通学児童生徒のバス利用支援やスクールバスの運行など通学手段の確保に努めます。

具体的な  
取組例

- ・遠距離通学に係るバス代等の支援の実施
- ・公共交通機関がない地区については、スクールバスの運行の検討

### 老朽化施設・設備の改修

(教育総務課)

将来にかかる維持管理・更新費の抑制のため、計画的に学校施設の改修・修繕・維持管理を行い、教育環境の安全性を確保します。

具体的な  
取組例

- ・各種法定点検、遊具点検等を通じた学校施設の安全の確保
- ・今後の公立学校の統廃合を見据えた施設の大規模改修の検討
- ・空調機器、照明機器等の計画的な更新

### コミュニティ・スクール<sup>9</sup>の導入

(学校教育課、生涯学習課)

学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進するため、地域学校協働活動と合わせたコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入に向けて取り組み、学校評議員制度からの転換を図ります。

### 学校給食提供体制の整備

(学校教育課、教育総務課)

将来にわたり安全でおいしい給食を児童生徒へ安定的に提供するため、給食センターの整備を進めます。また、安全で安心できる学校給食の提供をすべく、食材検査事業を継続して実施し、食の安全について広く周知するとともに地元産食材を活用した地産地消に取り組みます。

具体的な  
取組例

- ・新たな給食センターの整備による安心・安全な給食提供体制の構築
- ・鹿島区の給食センターの修繕による衛生的な調理環境の構築
- ・食材検査事業の継続実施
- ・地元産食材を可能な限り活用した地産地消の推進

## 9 コミュニティ・スクール

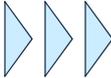
「学校運営協議会制度」を導入している学校のことで、学校と地域との連携・協働関係の強化を通じて、より質の高い教育を実現しようとする制度。

## 施策 4

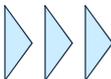
## 児童生徒の状況に応じた支援の充実

### KPI (重要業績評価指標)

#### 指標名 不登校児童・生徒の割合

現状値 (令和5年3月31日時点)	小	0.68%		目標値 (令和9年度)	小	0.65%
	中	3.49%			中	2.30%

#### 指標名 学級生活に満足している児童生徒の割合

現状値 (令和5年6月7日時点)	小5	68.1%		目標値 (令和9年度)	小5	80.0%
	中2	55.2%			中2	65.0%

### 4 - 1 不登校・いじめ未然防止へ積極的に対応します。

---

悩みや不安に対する支援体制の充実やいじめの未然防止、早期発見、早期解決を図り、次世代を担う子どもたちが、学校生活を楽しく過ごし、健やかに成長することができる環境の整備に取り組めます。

### 4 - 2 震災と原発事故の影響による家庭環境等の問題を抱える児童生徒への心のケア等に積極的に対応します。

---

震災と原発事故の影響による家庭環境等の問題を抱える児童生徒に対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置等により、きめ細かな心のケア等、積極的に対応します。

### 4 - 3 一人ひとりの状況に応じた就学・学習支援を推進します。

---

障がいや不登校、日本語能力、特異な才能、複合的な困難等を有する子どもたちの多様なニーズに対応するため、社会的包摂の観点から個別最適な学びの機会を確保できるように、一人ひとりの状況に応じた就学・学習支援を推進します。

また、インクルーシブ教育システム<sup>10</sup>など、全ての子どもたちがそれぞれの多様性を認め合い、互いに高め合う協働的な学びの機会の確保など、一人ひとりの能力・可能性を最大限に伸ばす教育の実現を図ります。

---

10 インクルーシブ教育システム

障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが、共に学ぶ仕組み。

## 主な取組

### いじめ問題への積極的な対応

(学校教育課)

「いじめを許さない学級、学校づくり」の実現に向け、道徳教育の充実や保護者、地域住民、学校、関係機関等の連携によるいじめ問題対策連絡協議会の設置及び情報共有化と問題の対応を行います。

#### 具体的な 取組例

- ・いじめに係るアンケート調査や Hyper-QU 検査の定期的な実施による、いじめの早期発見、早期解決
- ・いじめ問題対策連絡協議会において、いじめの状況やいじめ防止等について協議するなど、関係機関と連携した適切な取組の実施

### スクールカウンセラーの配置

(学校教育課)

スクールカウンセラーを定期的に小中学校へ派遣し、カウンセリングを通して児童生徒の心のケアや、教員や保護者に対して指導助言等のメンタルケアを行い、こどもが健やかに成長できるよう専門的な支援、対応ができる相談体制を整備します。

### 就学指導アドバイザーの配置拡充

(学校教育課)

発達障がい等支援が必要な児童生徒が増加していることから、特別支援を要する児童生徒及びその疑いのある児童生徒が円滑に就学することができるよう、就学指導アドバイザーの配置拡充を図ります。

### 適応指導教室の運営

(学校教育課)

不登校児童・生徒に対する支援体制を充実するため、適応指導教室を運営するとともに、児童生徒の健康状態や気持ちの変化の早期発見・早期支援を推進し、学校生活に復帰できるよう支援を行います。

#### 具体的な 取組例

- ・適応指導教室を各区に設置し、児童生徒の生活や学習指導等を実施
- ・臨床心理士による児童生徒、教員及び保護者への面接指導の実施

### 学習支援員・介助員の配置拡充

(学校教育課)

発達障がい等支援が必要な児童生徒が増加していることから、多様なニーズを有するこどもたち一人ひとりの状況に応じた就学、学習支援を行うとともに、教員の負担軽減を図るため、学習支援員・介助員の配置を拡充します。